

光に向かって

新聞にヒント

2年 高橋 凜さん(17)

「浅はかな知識や、物事の捉え方で判断や行動するのはやめよう」と心掛けています。大人になるとうれしいこともあるけどリスクもある。新聞などニュースに敏感になり、周りの人の考えを聞きながら決断できるようになりたい」



こんな大人になる!

2年 小池 終さん(17)

「あと1年で大人になると思うと難に生活はできない。まずまず一つ一つの行動に責任を持ちたい。高校生だけど大人というのはあまり実感は湧かない。これからの政治、日本を自分たちがつくる立場になるのはいいことだと思う」



2年 青嶋 美玖さん(17)



「選挙など、分からないことが多い。分からないことに遭遇しても、落ち替いで柔軟に対応できる大人になりたい。18歳成人はうれしい半面、責任が増えてばかりではなく、物事に自立して取り組まなければならないので不安もある」

記者 堀本・前田 明子

NIE実践校

米沢東高生に聞きました

回し読み、社会問題を考察

米沢東高では新聞の読み比べや、気になる記事を切り取りグループ内で話し合う「まわしよみ新聞」など、新聞学習を積極的に行っています。取材したのは、人文系と新聞学を専攻する米沢東高の2年生3人。

交差しながら読み進めると、或人にならざるを得ない部分で、或人が増えるという半面、リスクもあることを意識しながら読むという。あつたが将来やりたい職業を履修し、関連する知識を新聞から入手しているという生徒もいた。

「NIEは教育現場で新聞を活用する1年生から3年生まで行われている。今年からは1年生にも指定されている」



「まわしよみ新聞」で、気になる記事を模造紙に貼る米沢東高の生徒＝米沢市

2年 村田 龍栄さん(17)

「同じテーマの記事でも新聞によって視点が違い、どれが自分の考えに近いかながら読んでいます。18歳になると選挙権があり、社会を変える立場になる。自分の意見を政治に参加して伝えることが大切だと感じている」



こんなふうに新聞を 読んでいる!

3年 高橋 梨子さん(18)

「作業療法士を目指していて、介護や地域医療に関する記事を読んでいる。介護職が足りていないことなど、社会で問題になっていることを深掘りしたい。新聞を読むと視野が広くなり、将来の自分のために役立っていると感じる」



3年 二宮 綾音さん(18)

「経済や地域活性化について興味があり、スクラップもしている。南陽市の『ラーメン蔵』や南陽高市役所部の経歴などが面白い。将来は起業してみたいという気持ちがあり、ベンチャービジネスの話も気になっている」